

2023年度 講師派遣活動記録

事業名	環境教育およびエコロジカルライフを実践するための講座開催事業		
活動名	第17回浜名湖アート・クラフトフェア「私たちの暮らしからプラスチック問題を考える」海洋プラスチック		
担当者	高根 美保	主催団体	NPO法人エコライフはままつ
事業区分	講師派遣	事業サイクル	継続事業
活動の目的			
海洋プラスチック問題を考える			
実施内容			
活動日時	2023年9月16日(土)・17日(日)10:00~16:00		
活動場所	浜名湖ガーデンパーク 第17回浜名湖アート・クラフトフェア SUZUKIブース		
活動者名	村河善信、高根美保		
詳細	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ拾い活動の実績から分かった、海洋プラスチックの現状説明 ・海洋プラスチック問題に対して私たちに出来る行動紹介 		
事業の成果	<p>講座回数 32回(16回/日*2日間)1回5分程度 参加者 16日(土) 71組 /17日(日) 101組 合計 172組</p> <p><説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年開始した浜松市西部清掃工場周辺のごみ拾い30回実績と街中ごみ拾い30回の回収量が多い3種類を紹介。 ・馬込川調査結果から川水に含まれ絵いたプラスチックを紹介。 ・海洋プラスチックがどのようにして生まれたのか説明。 ・海洋プラスチックがマイクロプラスチックになる理由を説明。 ・プラスチックごみは、なくなることがないことを説明。 ・マイクロプラスチックが与える影響を説明。 ・私たちにできる6Rの行動を説明。 <p><参加者の声></p> <ul style="list-style-type: none"> ・拾ったごみの種類や数を聞いて、具体的に分かった。 ・ごみ拾いの経験はあるが、細かい種類や数を調べることはしていない。説得力があった。 ・ごみは、捨ててはいけないことが分かった。 ・一応、マイクロプラスチックについて分かった。 ・海洋プラスチックごみの色や形の違いが万華鏡を通して見ると面白いことが分かった。 <p><活動者の声></p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋プラスチックの説明について、じっくり聞く方と、そうでない方が二分されている。どちらかというと興味ナシの方の方が多かった。 ・プラスチックごみ拾いの実績紹介は、事例に基づくだけに臨場感があった ・プラスチックごみは、人間が引き起こしている現象であることを再認識した。 ・大きなイベントのひとつとして、SDGsミニ講座を開催しても人は聞いてくれないが、SUZUKIのブースで無料で万華鏡が出来るとなると幅広い世代が参加してくれた。 ・参加者の年齢や様子に合わせて説明内容を少し変えることで、興味を持つ人がいた。 ・6R行動では、参加者参加型として、自らの行動が環境行動であることを理解してくれたと思う。 ・本日は、4年間の継続事業である。不特定多数の方々に説明できた良い時間だった。 ・SUZUKI船外機による海洋マイクロプラスチック回収活動の様子が詳しく分からなかったことが残念である。 		
事業の課題	環境行動(3R)の言葉の意味が浸透していないことが分かった。ごみ拾いは理解しているが、ごみを出さない減らす行動には無関心である。興味を持ってもらえる工夫が必要である。		

記録添付

